

# 避難場所の凡例

	<b>収容避難所</b> 大規模な災害が発生した場合に、南丹市が必要に応じて開設する屋内の避難施設
	<b>一時避難所</b> 局地的な災害が発生した場合の一次的避難または、自主避難を促す屋内の避難施設
	<b>臨時避難所</b> 大規模な災害が発生した場合に、指定された収容避難所だけでは収容が困難な場合に開設する屋内の避難施設
	<b>広域避難地</b> 大地震などで発生する市街地の大火に対して、広域避難の最終目的地となる都市防災施設
	<b>一時避難地</b> 地震や火災が発生したときに、一時的に避難が出来る公園やグラウンドなどの屋外施設

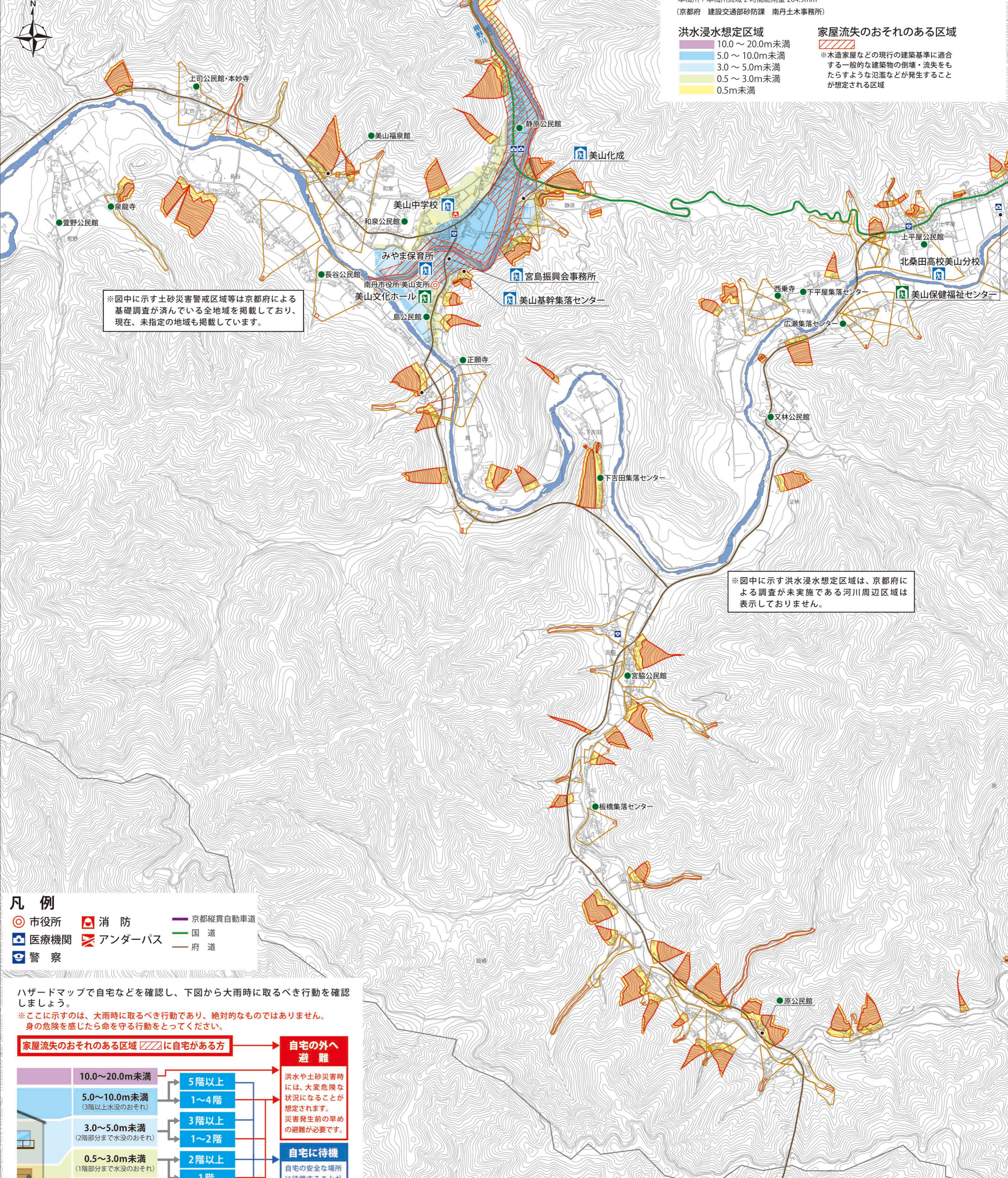
収容避難所名称	対象地区名
美山文化ホール	原、板橋、宮脇、下吉田、島、長谷、上司、和泉、静原

**洪水浸水想定区域**  
想定し得る最大規模の降雨で河川が氾濫した場合に想定される浸水区域を色別に表示しています。

**〇想定最大規模降雨**  
桂川：桂川流域 24時間の総雨量 394mm (ピーク付近9時間で300mm)  
園部川：園部川流域 24時間の総雨量 422mm (ピーク付近3時間で207mm)  
田原川：田原川流域 2時間の総雨量 188mm  
棚野川：棚野川流域 2時間の総雨量 585mm  
三保川、東所川、天神川、陣田川、半田川、八田川、宮山川、馬田川：各流域 2時間総雨量 225mm  
本梅川：本梅川流域 2時間の総雨量 204.9mm  
(京都府 建設交通部砂防課 南丹土木事務所)

**洪水浸水想定区域**  
10.0～20.0m未満  
5.0～10.0m未満  
3.0～5.0m未満  
0.5～3.0m未満  
0.5m未満

**家屋流失のおそれのある区域**  
※木造家屋などの現行の建築基準に適合する一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫などが発生することが想定される区域



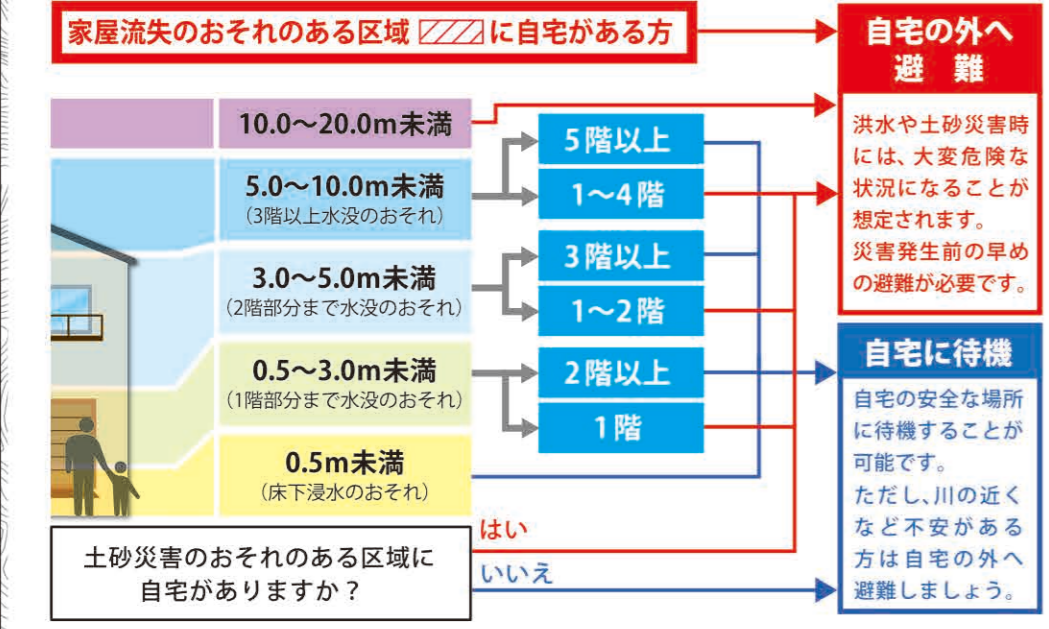
※図中に示す土砂災害警戒区域等は京都府による基礎調査が済んでいる全地域を掲載しており、現在、未指定の地域も掲載しています。

※図中に示す洪水浸水想定区域は、京都府による調査が未実施である河川周辺区域は表示していません。

### 凡例

	市役所		消防		京都縦貫自動車道
	医療機関		アンダーパス		国道
	警察				府道

ハザードマップで自宅などを確認し、下図から大雨時取るべき行動を確認しましょう。  
※ここに示すのは、大雨時取るべき行動であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら命を守る行動をとってください。



**土砂災害警戒区域等**  
大雨により土砂災害の起こるおそれのある区域を色別に表示しています。

	急傾斜地の崩壊 警戒区域		土石流 警戒区域		地すべり 警戒区域
	特別警戒区域		特別警戒区域		警戒区域